

『ポリネコ！』立ち上げと運用 予算の内訳（先日お送りした基本形）

市民が安全で安心して暮らすことができ、豊かさを実感できる市となるための
唯一の特許モデルによるコミュニケーション投資

・立ち上げ

2300万円

・システム開発

企画、
要件定義
（各地方公共団体、部局ごとの
目的と手段の定義）
機能精査、
認証廻りの設計、
データベース設計、
インターフェース設計、
集計用プログラム、
管理ダッシュボード設計、
-上記の開発実装
開発ディレクション
稼動テスト

・運用

1440万円/年間(120万円/月)

以下に含まれないもの

- ・告知にかかる経費
- ・回答インセンティブにかかる原資

・システム運用

『ポリネコ！』による実査
事前調査（データ収集/分析、ヒアリングインタビュー）
設問設計
コンテンツ開発及び参考情報設計
（テキスト、グラフィック、ムービー等）
回答データ集計（集計、テキストマイニング）
回答データ分析
回答データに基づく提言
ユーザーへのフィードバック（企画、開発）
問い合わせ対応
不正アクセスへの監視
システムの改善（操作性、バグへの対応等）

・運営のための連携体制、仕組み構築

庁内プレゼンテーション
関係各位（各課、議会等）との調整、交渉の並走
定期ミーティング（フィードバックループの運用）
庁内向け研修（研修資料開発）
ワークショップ
（企画設計、開発、実施、フィードバック×30～40回）
コミュニケーション設計（庁内、庁外、住民向け）
広報向けコンテンツ開発

・既存のアンケート調査への対応

既存アンケートの監修
庁内へのフィードバック（メール配信、サイト等）

『ポリネコ！』立ち上げと運用 導入までのステップ

- ・およそ半年でゼロから導入までの準備が可能です。（半年以下にすることも可能ですが目安として）
- ・導入後は、より短期間で調査テーマを立ち上げ可能。
- ・複数の調査テーマを並行して運用可能です。

導入まで(事前実装準備)

導入後(地域への実装)

フェーズ	計画立案フェーズ			施策実行フェーズ		
	目的の設定	手段の合意	設問・参考情報設計	役割の整理	回答受付開始	運用と改善
重要ポイント	課題の整理 明確な言語化 理想状態の定義	実現可能な 課題解決方法と そのレベル観の 決定	わかりやすさ 理想の言語化	実施定着に向けた 関係各位の理解、 役割の整理確認	告知コミュニケーションの設計 問い合わせ対応	「目的」に沿った 継続的な運用改善
注意すべき 落とし穴	・行政目線、行政の都合で考えてしまう ・理想と課題の認識の立場ごとのギャップ			・取組みの趣旨が理解されず、部局外の協力を得られない ・取組みがやりっぱなしになり、知見がお蔵入りする ・外部から横やりが入る		
回避・予防	・インタビュー取材、データ分析などによる事前調査 ・ステークホルダーとの対話、議論 ・理想状態のドキュメントベースでの合意			・関係各位を考慮した理解、浸透の設計 ・データの共有、参加意識が持てる運用体制の構築 (なるべく現場の負担にならずに)		
『ポリネコ！』 の対応	・コンサルティングとしての事前調査、計画策定 ・設問及び参考情報の設計 ・関係者への説明（必要に応じて）			・『ポリネコ！』事務局としての「目的」達成支援 関係者への各種説明、研修などの実施など ・隔週、月1程度の頻度での情報共有ミーティング (フィードバックループの確立)		

『ポリネコ！』 立ち上げと運用 予算の提案（津山市様専用）

教育行政及び、庁内の各種調査プラットフォームとして『ポリネコ！』を活用することで、津山市民の方々と津山市役所がデータやファクトに基づく、信頼関係を構築するために、専任担当（システムや特許付き）を確保するイメージで・・・

1年	2年	3年	4年	5年
690万円	690万円	690万円	690万円	690万円
立ち上げと 運用	運用と 改良	運用と 改良	運用と 改良	運用と 改良



津山市様の
コロナ対応
デジタル対応
GIGAスクール対応を
同時に進め
約46000人*と
市役所との
繋がりを構築
(*5年間での増分含む)